



大久保小だより



学校教育目標 **かいっぱい かしくく やさしく たくましく**
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

平成29年5月1日第2号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関2-1

048(854)7636

男子153名女子123名計276名

～ 本格的に学校生活が始まる ～

今年の合言葉「やればできる」

校長 相川 光彦

若葉が香り、草木の成長する季節となりました。大久保小学校の子どもたちが、滝を登って龍になるように大きく健やかに成長してほしいと願いを込めた今年の校庭の鯉のぼりは、賑やかに雄々しく風の中を泳いでいます。

5月は木の芽がすくすく伸びるように、子どもの背丈が伸びる季節だそうです。成長には、栄養・運動・睡眠がとても大切です。成長ホルモンの分泌は、就寝後1時間が最も多く分泌されるそうです。また、成長ホルモンは、体や筋肉の生育だけでなく、疲れをとったり免疫力を高めたりする働きもあります。

2時間以上TVを見る。2時間以上ゲームをする。児童が、全国や市の調査よりも多くいます。中には、4時間以上の子もいます。TVの見すぎやゲームのやりすぎは、眼や脳の疲れのもとになり寝つきが悪くなったり質のよい睡眠をとれなくなったりします。

起きている間にたくさん運動をして、美味しい夕飯を楽しい気持ちでたくさん食べて、しっかり寝ることが、学力向上にもつながります。

新年度が始まって3週間が経ちますが、子どもたちは、友だちとの関係づくりを学びながら新しい学級や生活に慣れようと頑張っています。友だちとのよい人間関係は、とても重要です。そのため、さいたま市では3年生以上の全学級で、「人間関係プログラム」の学習をおとして、コミュニケーション力の向上に取り組んでいます。友だちとのトラブルなどへの対応の仕方など子どもたち自身で解決していかなくてはならないことが、数多くあります。その学習では、いろいろな場面で、相手を傷つけずに自分の意思を伝える方法を学んでいます。

中には、自分の考えや思いを上手に伝えられない。また、自分が悪いと分かっているのに、認められずに手や足、口を使って攻撃してしまう子どももいます。担任が見ている時は、きちんと指導できますが、見ていない場合もあります。嫌なことをされたときに「イヤ」「やめて」と言えることも大切なコミュニケーション力です。自分の気持ちを伝えられるよう授業などをおとして指導して参ります。「イヤ」「やめて」と直接言えない子は、担任の先生などに伝えるようご指導ください。

先日、校医さんから「運動することが『心身を鍛える』には、効果的なのだ」という話を聞きました。特に「心」のためには、仲間と共に体を動かす運動がいいそうです。やはり、人とかかわりの中で、学び成長していくのが、子どもなのだと感じました。

「口で言っているように出来るようになる子はいない」「1度の指導でうまく行くことはない」と先輩の先生に教えてもらったことを思い出します。

子どもたちには、勉強も行動も繰り返し、繰り返し指導する必要があります。「やればできる」を合言葉に全教職員が、粘り強く丁寧に一人ひとりのそれぞれのよさを引き出していきたくと考えています。これからも、「明日も学校に行きたい」と思える大久保小のために私たち教職員も保護者と力を合わせて、「ほめて伸ばす教育」を推進して参ります。よろしくお祈りします。